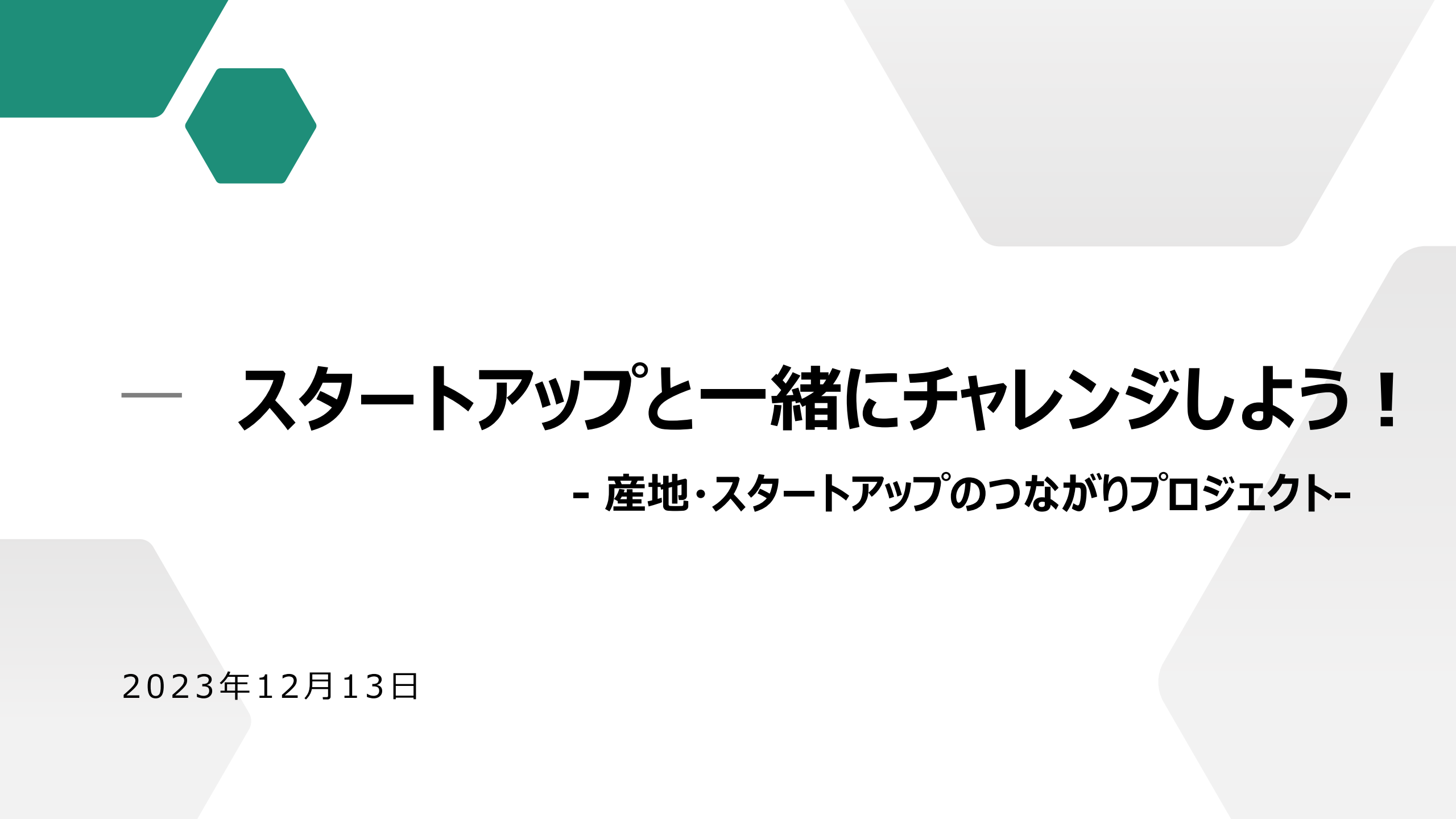




— スタートアップと一緒にチャレンジしよう！

- 産地・スタートアップのつながりプロジェクト-

2023年12月13日

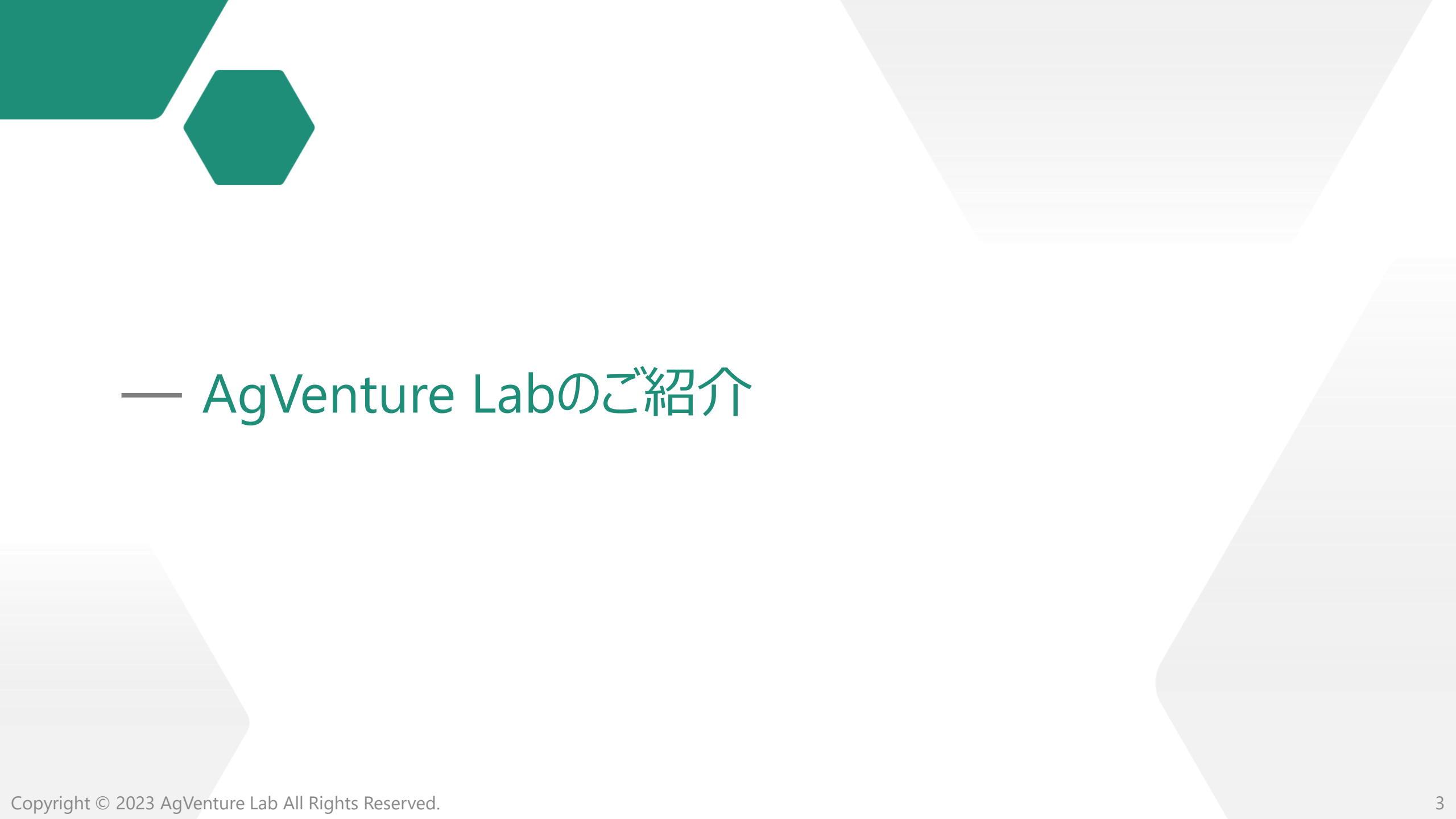


**一般社団法人AgVenture Lab 専務理事
JA全農 参事**

落合 成年

趣味：
アイドルの推し活

経歴：
1985年全国農業協同組合連合会（全農）に入会。
畜産生産部を中心に全農グレイン株式会社（本社米
国）副社長、家畜衛生研究所所長、全農広報・調査部
部長を歴任し、2020年より一般社団法人AgVenture
Lab専務理事および全国農業協同組合連合会参事。



— AgVenture Labのご紹介

AgVenture Labの概要

当法人は、農業者を中心とする組合員への裨益を目指し、JAグループによるイノベーション発揮に取り組んでいます

JAグループのイノベーションラボたる当法人の概要

- 全国のJAを支える、JAグループ全国段階の8者が結集して開設
- 「次世代に残る農業を育て、地域のくらしに寄り添い、場所や人をつなぐ」をコンセプトに活動しており、それらの実現に必要なプレイヤーが集う為のファシリティを東京・大手町に設置



社名 一般社団法人 AgVenture Lab

代表 代表理事 荻野 浩輝

設立 2019年5月

所在地 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビルディング9階

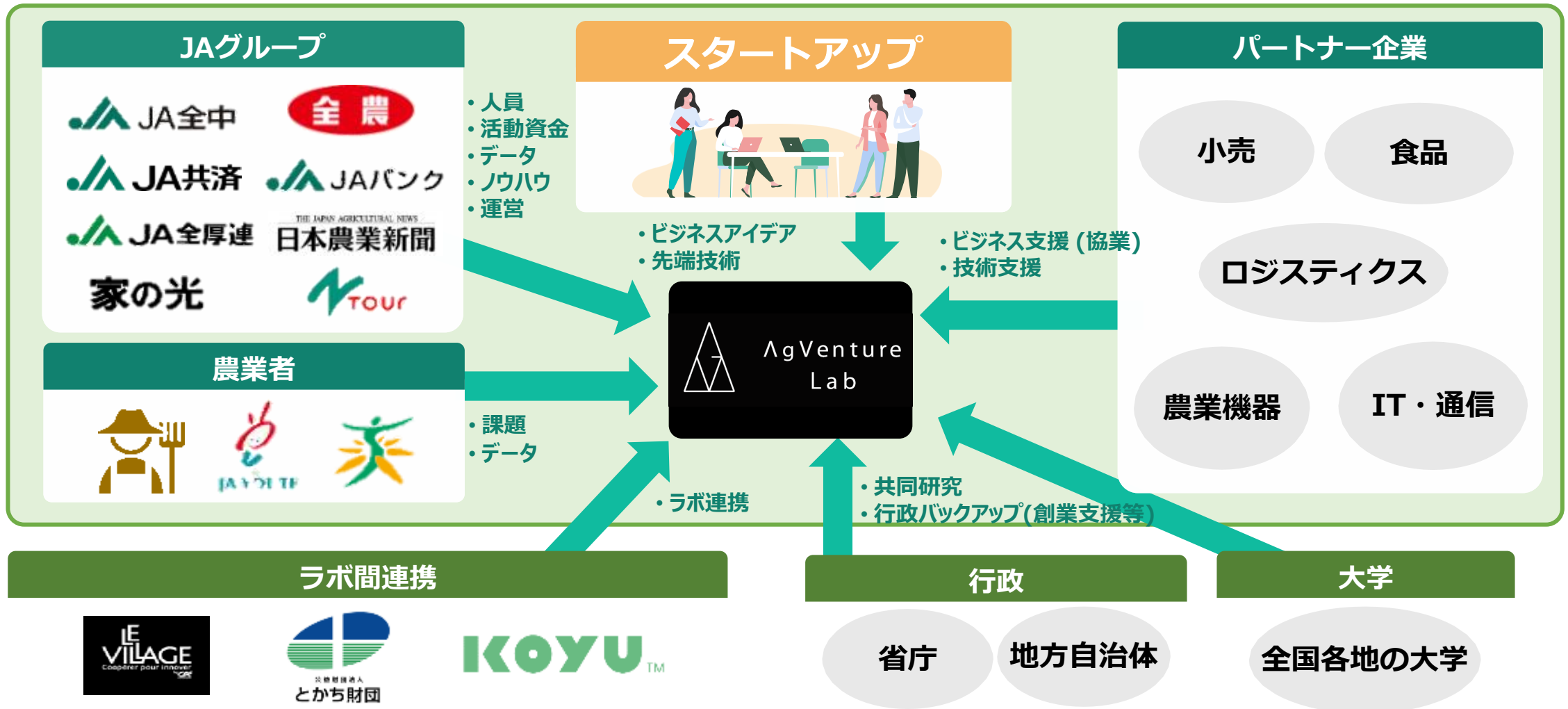
当法人の農業者およびJAグループ各組織との関係



①農業者や地域に資するTechを中心としたスタートアップの成長を支援すると共に、②JA系統各団体の変革を支援し、全国の食農暮らしの課題解決に資する事を目指す

当法人の概要 | 取り巻くステークホルダー

JAグループや農業者のみならずそれ以外のステークホルダーとの共創による社会課題解決を目指しています



スタートアップ（SU）・起業家の成長支援 | 社会課題解決を目指すJAアクセラレーター

食農暮らしのスタートアップとのネットワークとの関係性を有し、各地のJAや生産者の抱える課題解決に向けて取り組んでいます



- AgVenture Labでは、「食と農とくらしのイノベーション」をキーワードに、社会課題の解決に向け、革新的なアイデアや技術をもつスタートアップ企業の成長を支援する**JAアクセラレーター**を運営
- 採択されたスタートアップに対し、JAグループのアセット・ネットワークを活かし、**実証実験の機会提供等のサポート**を実施

第1期 応募数：192件 期間：2019.5~10	第2期 応募数：161件 期間：2020.6~11	第3期 応募数：211件 期間：2021.5~11	第4期 応募数：179件 期間：2022.5~11	第5期 応募数：189件 期間：2023.5~11

採択企業事例①



アクプランタ株式会社（JAアクセラレーター第1期採択）



- 植物の乾燥・高温耐性を強化する酢酸ベースのバイオスティミュラント資材を開発する理化学研究所発スタートアップ
- 新製品の実証実験を、JAグループを通じて農業法人・農家で実施、農家向け認知度向上をサポート

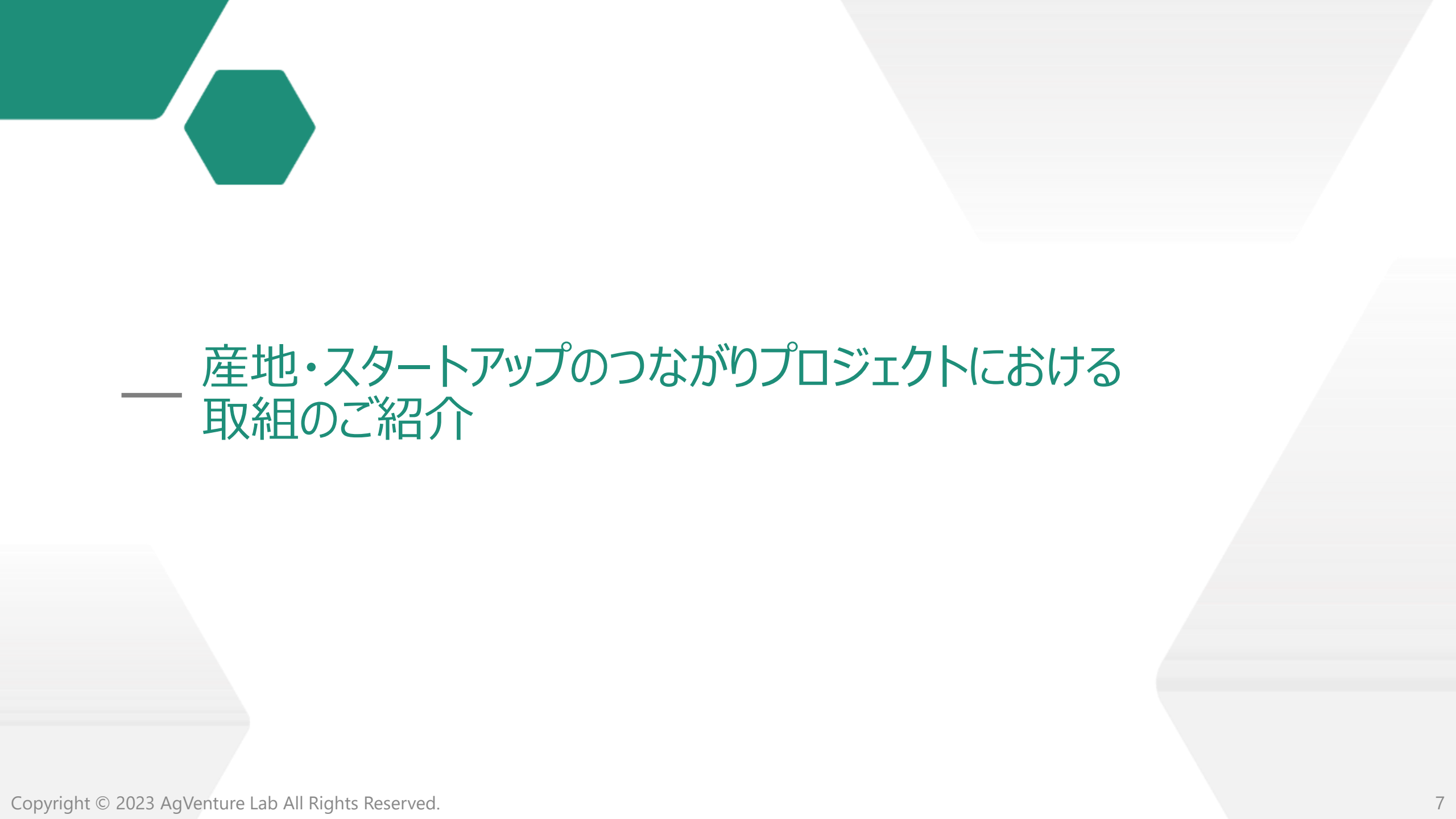
採択企業事例②



AGRIST株式会社（JAアクセラレーター第2期採択）



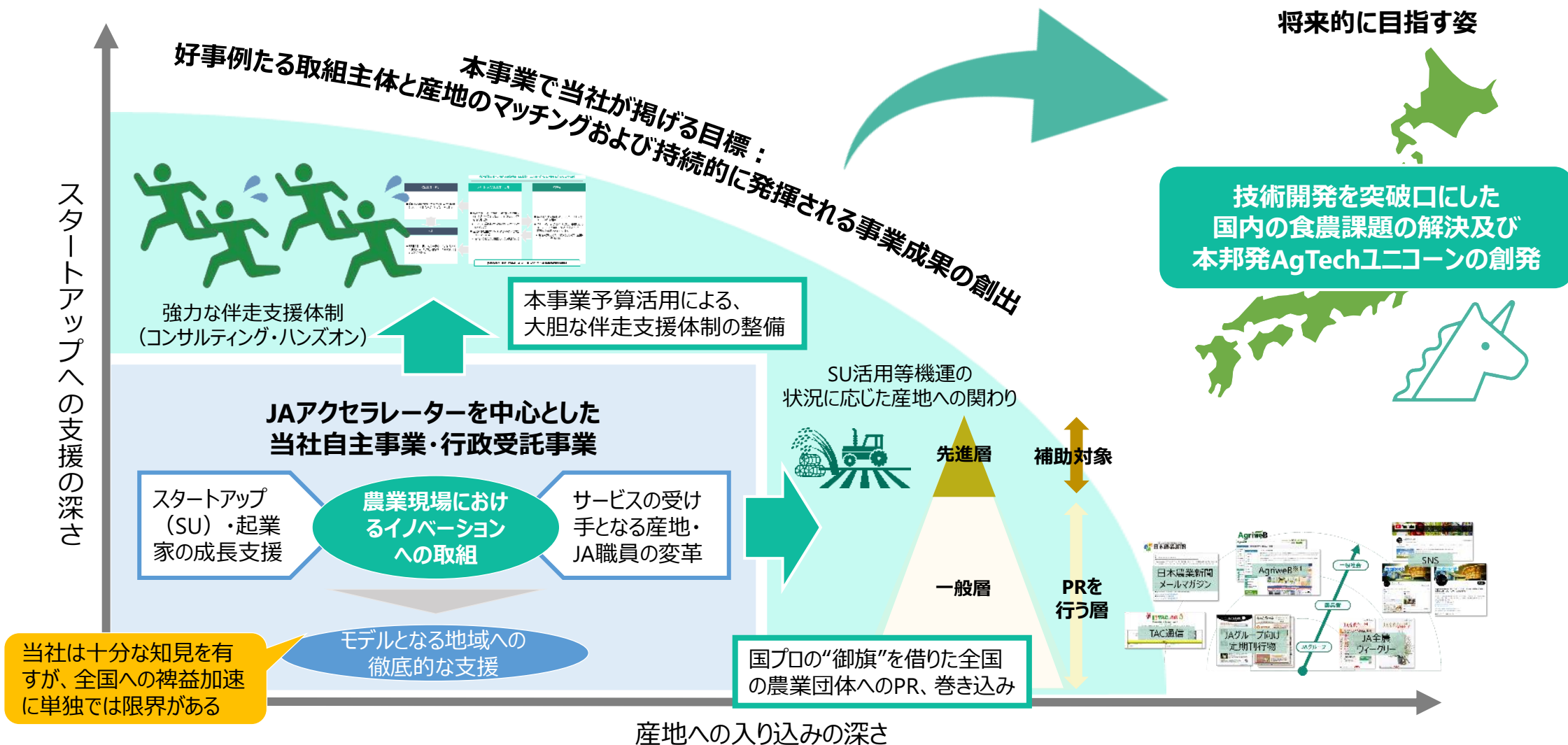
- 人手不足の解消のためピーマンの自動収穫ロボットを開発したスタートアップ
- JAグループと連携し、農業法人・農家へのインタビューを通じて自動収穫ロボットの開発を進め、JAでの農家向け説明会を開催



— 産地・スタートアップのつながりプロジェクトにおける 取組のご紹介

農水省補助事業「農業支援サービス事業インキュベーション緊急対策事業」に係る当法人の考え

当法人は自主事業等の中で積み重ねてきた実績をベースに単独では困難な領域に国の力を加えることで、その成果定着・波及加速化を実現し、スタートアップによる国内の食農課題解決を目指します



当法人が採択された「農業支援サービス事業インキュベーション緊急対策事業」概要

農林水産省から、農家の営農高度化に繋がる技術の産地定着に向けた2補助事業（総額1.8億円）に採択され、2023年3月～2024年3月の期間、取組を推進予定です

■ : AgLabが実施する内容



産地・スタートアップの
つながりプロジェクト

産地・スタートアップの つながりPJ

(予算規模：1.32億円)

2者による先端技術の産地への定着活動推進

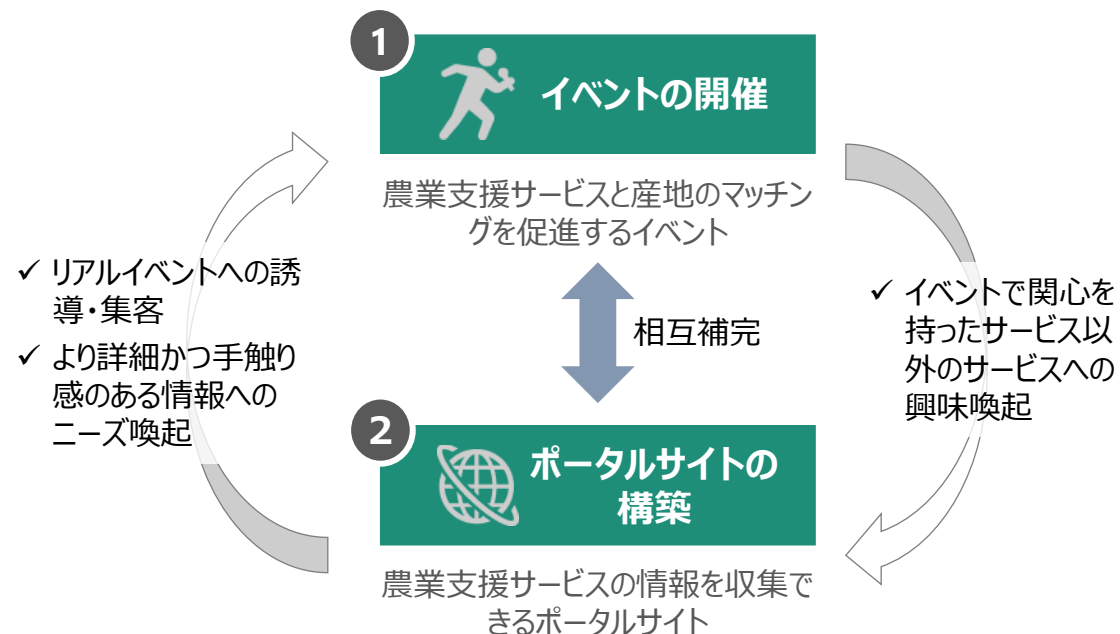


AgLabによるサポート

- ① 産地とスタートアップのマッチングの支援
- ② 両者の取組推進の支援
(補助金交付・コンサルティング実施)

サービス活用促進事業 (予算規模：4,800万円)

AgLab自身による課題・解決策のマッチング 仕組みづくり



当法人が採択された「農業支援サービス事業インキュベーション緊急対策事業」概要

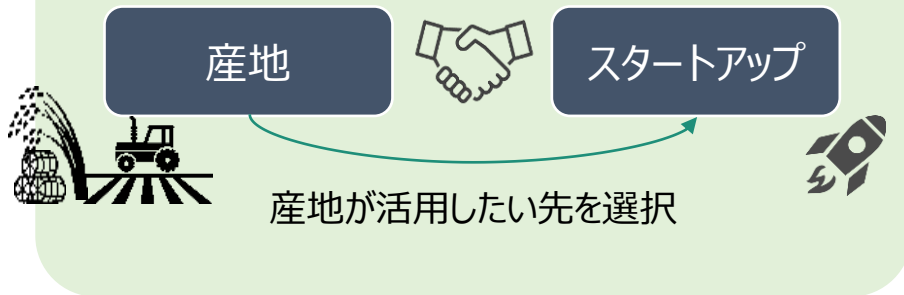
本日は産地へのスタートアップの定着を目指す「つながりプロジェクト」についてお話しします



産地・スタートアップの
つながりプロジェクト

産地・スタートアップの
つながりPJ
(予算規模：1.32億円)

2者による先端技術の産地への定着活動推進

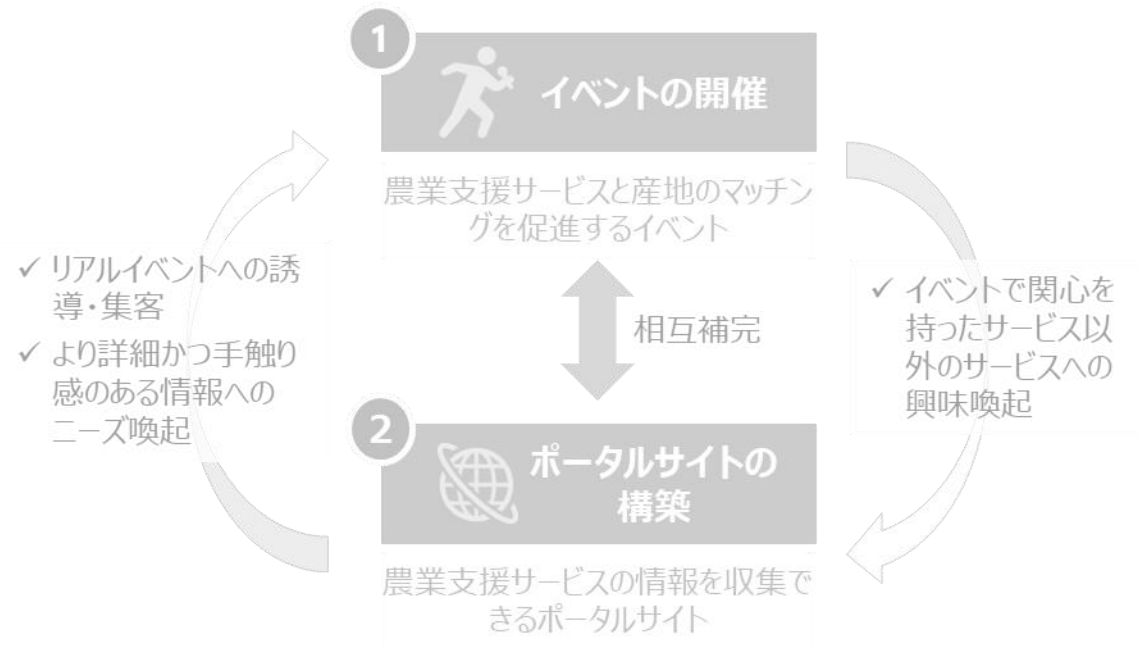


- ① 産地とスタートアップのマッチングの支援
- ② 両者の取組推進の支援
(補助金交付・コンサルティング実施)

■ : AgLabが実施する内容

サービス活用促進事業
(予算規模：4,800万円)

AgLab自身による課題・解決策のマッチング
仕組みづくり



課題を抑えたスタートアップの伴走支援

取組主体（SU）の経営課題に応じたコンサルティングメニューを用意しています

特定産地への定着戦略策定支援

- 当事業によって定着を目指す特定産地における課題の明確化および、その解決に向けた取組主体サービスの導入円滑化を図る



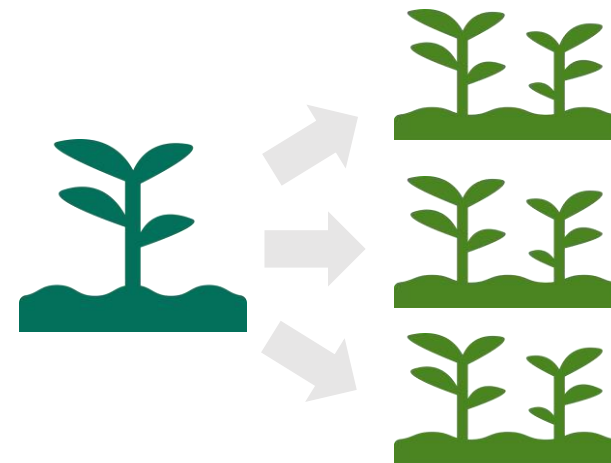
提供価値の構築・磨き上げ支援

- 特定産地における試行導入結果から得られるフィードバックを元とした取組主体サービスの改善および定着を図る



他産地への横展開支援

- 特定産地への試行導入の効果を他産地にも展開できるよう仕組みづくりを図る



目的

つながりプロジェクトにおける支援の全体像



多様なステージにある各事業者に対する支援について、各社の希望に基づき支援を実施しています

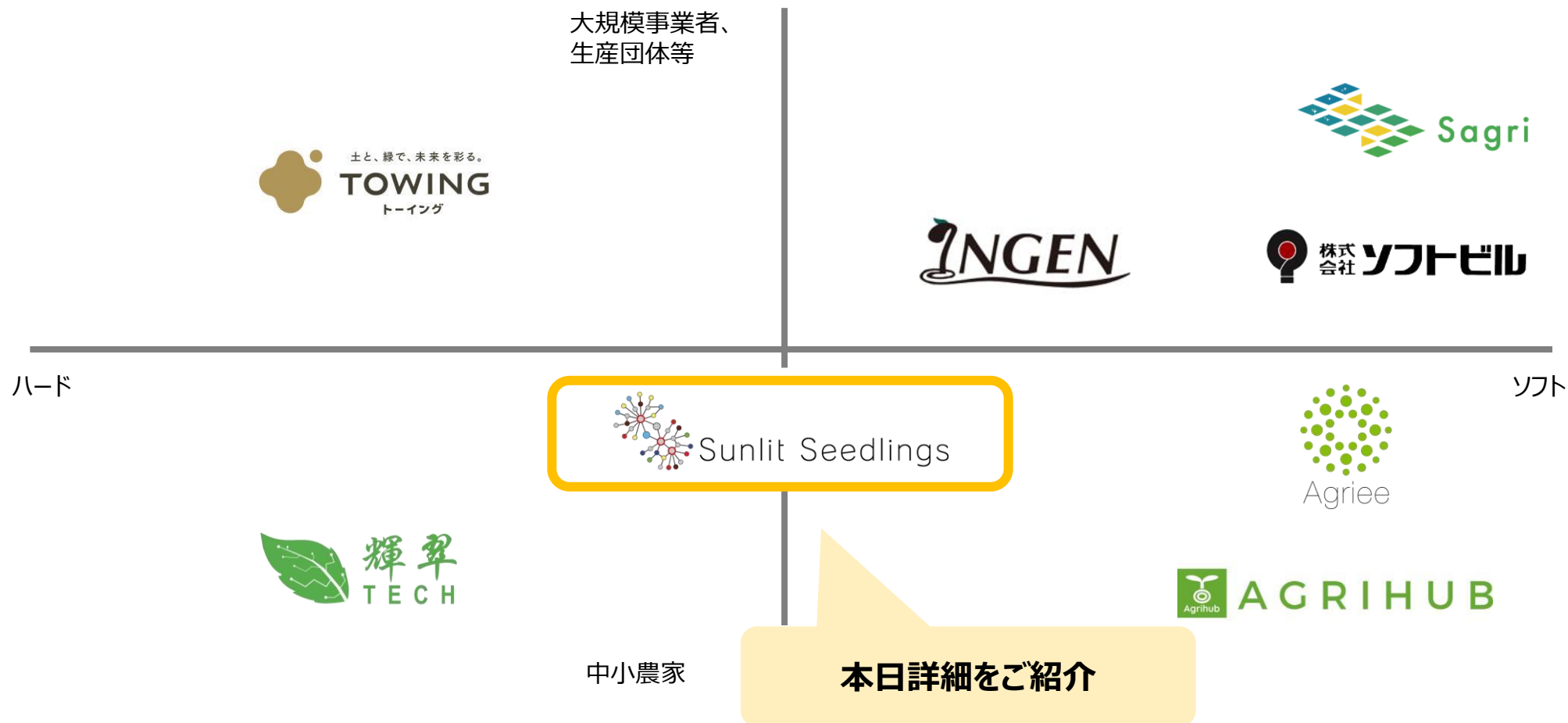


つながりプロジェクトにおける支援の全体像



産地・スタートアップの
つながりプロジェクト

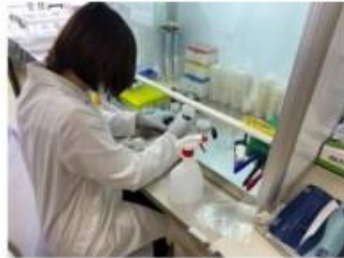
多様なステージにある各事業者に対する支援について、各社の希望に基づき支援を実施しています



同社の会社概要（京都大学発微生物スタートアップ）



創業者： 東樹 宏和
(京都大学：生態学、ゲノム学、情報学)
本社： 京都市左京区吉田上阿達町17番地
中央研究所： 滋賀県草津市野路東1-1-1
設立日： 2020年1月15日



同社が鹿児島県域で実施する基腐病抑止に向けた取り組み

サツマイモ基腐病



https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_002517.html

サツマイモ基腐病が確認された地域

※農林水産省の資料に基づく

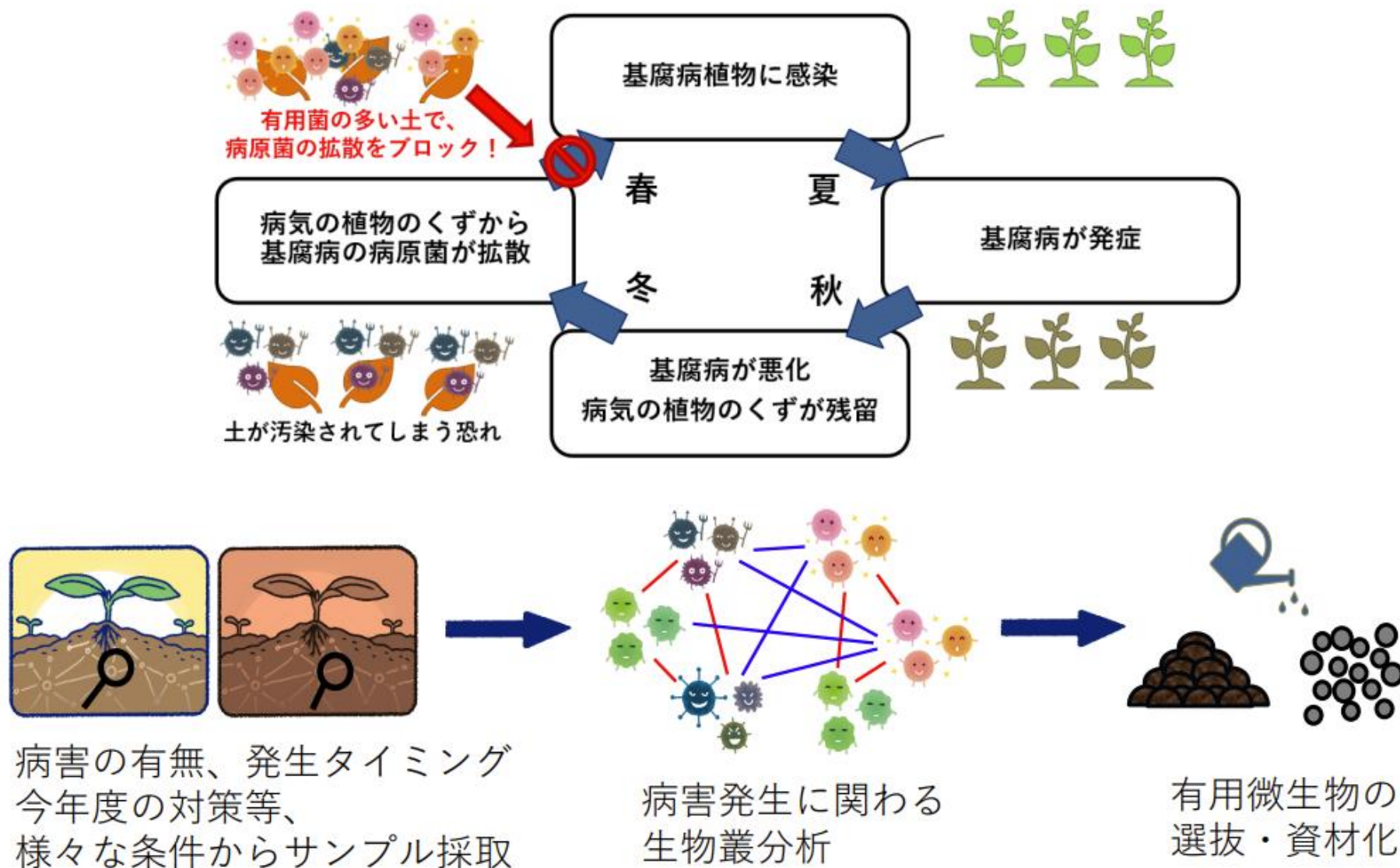


基腐病の猛威は徐々に
“東” へ拡大している



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000072201.html>

- ・ サツマイモの主要産地である鹿児島・宮崎では最大**25%**収穫量減
- ・ 焼酎メーカーの売上高ベース換算で約**300億円**もの市場が消失
- ・ 食品加工原料のでんぷん自給自足にも多大な影響



同社への当法人の伴走支援の様子

土壌中の微生物菌叢の分析の為、事務局においても土壌サンプリング支援を行っています

生産者への状況聴取



病害に晒された甘藷の残渣

土壌のサンプリング支援





AgVenture
Lab

